取扱説明書

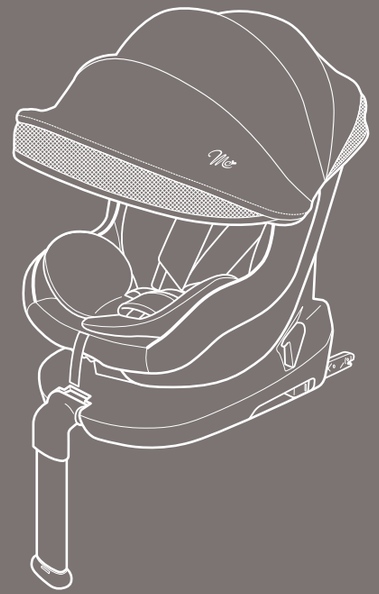
ターン・レジェデニムFIX

UN ECE R44/04規格適合

グループ適合0+/1

準汎用型

体重:2.5kg以上18kg以下



ECE R44/04
0-18kgY
E8
048905
B1+D
Semi-Universal ISOFIX
BBC-A7

ISOFIX

ご使用になる前に

本装置は、自動車事故などの際に衝撃を緩和する目的でつくられた、年少者用補助乗車装置です。
「取扱説明書」に従い確実な取り付けと、使用する時は必ず保護者の方が同乗し、安全運転をお願いします。
本装置は、安全規格(UN ECE R44/04)に適合したISOFIXチャイルドシートです。
安全・品質の確保に注意を払い販売しておりますが、万一不具合等が発生した場合は、修理または交換させていただきますので、「保証書」は大切に保管してください。

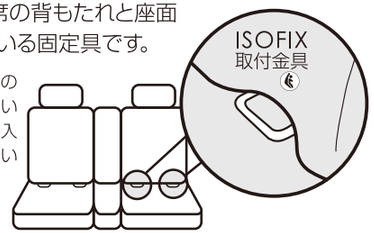
ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席の車両に取り付けることができます。

体　重	質量グループ	カテゴリー	サイズ等級	固定具
2.5kg以上13kg未満	0+	セミユニバーサル(準汎用)型	D	ISO/R2
9kg以上18kg以下	1	セミユニバーサル(準汎用)型	B1	ISO/F2X

ISOFIXで取り付けできる座席

進行方向に対し、前向きに「**ISOFIX取付金具**」が装備されている座席です。
「ISOFIX取付金具」は、ISOFIXチャイルドシートを取り付けるために、座席の背もたれと座面の間に装備されている固定具です。

※ご不明な場合は、車両の取扱説明書をご確認いただくか、車両をご購入された販売店にお問い合わせください。



車両のシートベルトで取り付けできる座席〈3点式シートベルト〉

ELR式シートベルト〈緊急ロック式ベルト巻き取り装置付シートベルト〉
ゆっくり引き出すと自由に出入りしますが、急に引き出したり急ブレーキ等のショックが加わるとロックするシートベルト。

AELR式シートベルト〈チャイルドシート固定機能付シートベルト〉
すべて引き出した後で巻き戻すと、チャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなるシートベルト。(シートベルトをすべて巻き戻すと解除される)

NLR式シートベルト〈非ロック機能式ベルト巻き取り装置付シートベルト〉
ロック機能がなく、すべて引き出して長さを調整するシートベルト。

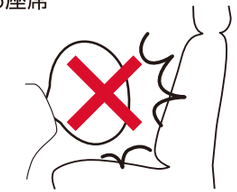
ALR式シートベルト〈自動ロック式ベルト巻き取り機能装置付シートベルト〉
引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ引き出せなくなるシートベルト。

マニュアル式シートベルト
巻き取り装置のない3点式シートベルト。

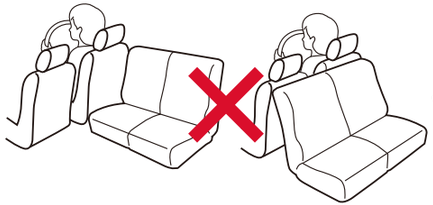
ISOFIX・車両のシートベルトで取り付けできない座席

車両の座席・シートベルトが下図のタイプに該当する場合は、本装置を取り付けることができません。取り付けた場合に事故等で、お子様や同乗者の方が死亡・重大な傷害および損害を負うおそれがあります。

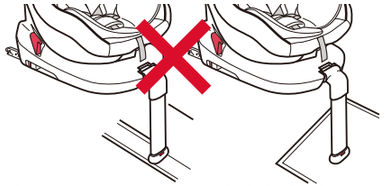
●助手席、エアバッグが装備されている座席



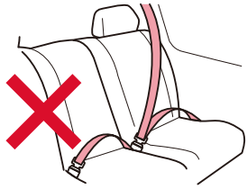
●横向き・後ろ向きになっている座席



●レッグサポートが接地するフロアに、座席のスライドレールや床下収納スペースがある座席



●2点式シートベルトの座席
肩ベルトがない腰ベルトのみのシートベルト。



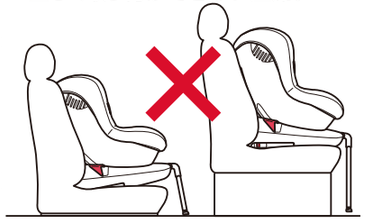
●本装置を取り付けると、運転操作や視界のさまたげになる座席

●腰ベルトに付いたELR式シートベルトの座席
腰ベルト側にELRが付いているシートベルト。

●パッシブシートベルトの座席
前部座席に座りドアの開閉により、自動的に装着・解除されるタイプのシートベルト。

●本革シートの車両
車両のシートが傷むおそれがありますので、そのまま本装置を取り付けないでください。取り付ける場合は、保護シート等を敷いてから取り付けることをお薦めします。（別売）

●フロアに対して座席が低すぎたり、フロアの形状によりレッグサポートが正しく取り付けできない座席。



ご使用になる前に

本装置は、ISOFIX・車両のシートベルト（3点式）での取り付けが可能ですが、どちらでも取り付けが可能な座席の場合は、ISOFIXでの取り付けをお勧めします。
※ISOFIXと車両シートベルトを併用して取り付ける必要はありません。

★ポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守ってください

⚠警告
事故につながったり、生命の危険・重大な傷害のおそれがある事を記載しています。

⚠注意
安全のため、ご注意していただきたい事を記載しています。

補足
より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたい事を記載しています。

⚠警告

①本装置は『取扱説明書』通りに取り付けてください。
②車両のシートベルトや座席の種類・形状により、『取扱説明書』通りに取り付けできない場合は、使用しないでください。
③本装置のベルトが緩んだ状態で使用しないでください。ベルトに緩みがあると、首に巻き付き窒息するおそれがありますので、必ず正しい長さでご使用ください。
④お子様がバックルのボタンを押してベルトを外したり、ベルトから抜け出ないように、時々ロック部分の確認をしてください。
⑤車両のシートベルトや本装置のベルトを、傷つけないように注意してください。傷ついた場合、衝撃時に十分な効果が得られない場合がありますので、使用しないでください。
⑥衝突等により本装置が強い衝撃を受けた場合、破損の可能性がありますので使用しないでください。
⑦緊急時に同乗者が車両から脱出する際、さまたげになる座席には決して取り付けないでください。
⑧拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類・発泡材等を外して使用しないでください。
⑨お子様を本装置に乗せてセットする際、骨盤が腰ベルトで固定されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせ、適切な位置で拘束されるようにしてください。
⑩走行中にリクライニングや回転等の操作は絶対しないでください。
⑪車両の走行中は、ベルトの調節やお子様の乗せ降ろし（乗り降り）は絶対しないでください。
⑫本装置の取り付け後、車両の座席の移動や調整をしないでください。固定が緩む可能性があります。
⑬本装置の部品やベルト等を鋭利なもので傷つけないでください。切れたり欠けたりしていると機能が正常に働かない場合があります。
⑭お子様を乗せたまま車両から離れないようにしてください。不慮の事故につながるおそれがあります。
⑮本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる原因になるおそれがあります。
⑯チャイルドシートのシート部を横向きにしたままで、絶対に走行しないでください。本来の機能を果たさず、たいへん危険です。（お子様の乗せ降ろしのときのみ横向きで使用してください）
⑰回転・リクライニングのロックがされていない状態で、使用しないでください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が動いて不慮の事故につながるおそれがあります。

⑱レッグサポートを収納した状態で使用しないでください。衝撃時に機能が発揮できません。必ず高さを調節してからご使用ください。

⑲安全のため、中古品や劣化した本装置は使用しないでください。使わなくなった本装置は、再利用されないように破棄してください。

⚠注意

①本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。

②本装置に日光が当たりますと、熱くなってお子様がやけどをするおそれがありますので、大人が金属部分・樹脂部分に触れて熱くなっていないかを確認してからご使用ください。

③お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がったり、中腰にさせないようにしてください。

④本装置のバックルや可動部分に水やジュース等をかけないでください。部品の故障の原因になります。

⑤車両内に傷害を与える可能性のあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がけがをするおそれがあり危険です。

⑥本装置にお子様を乗せない時でも、安全のため必ずISOFIXコネクタまたは車両のシートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が移動してけがをするおそれがあります。

⑦本装置が車両の座席やドアに挟まれたりしないように注意してください。

⑧肩ベルト調節ストラップを上に引っぱると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

⑨本装置を持ち運ぶ際は、本体ベース部分を持って移動させてください。決して本体部分のみを持って、持ち運ばないでください。破損・故障の原因になります。

⑩本装置を取り付ける座席には、何も置かないでください。(本革シート等のシートを保護するためのマットは除く)座面がぐらついて、しっかり取り付けられない場合があります。(シートベルト装着時)

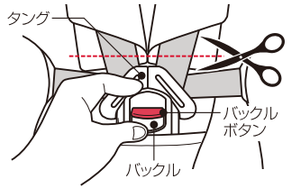
⑪改造・修理はしないでください。破損・故障の原因になります。

⑫本装置を保管する際、お子様の手の届かない場所に保管してください。不慮の事故につながるおそれがあります。

⑬ホコリの多い場所に放置したり使用したりすると、ベース内の回転機能やISOFIXコネクタ等の可動部分が詰まり、故障の原因になる場合があります。

⑭レッグサポートと、車両のフロアとの間には何も置かないでください。レッグサポート調節レバーがロックされているか確認してください。

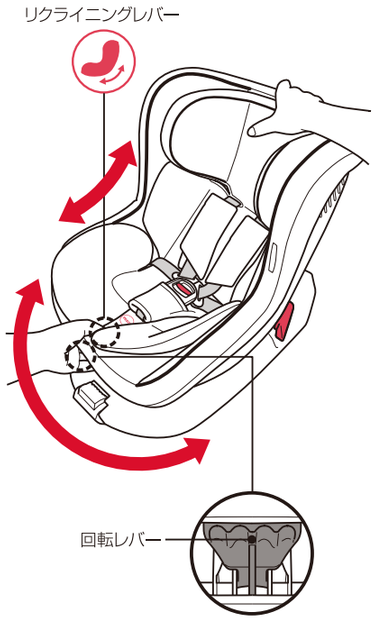
緊急時のご対応について



緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。バックルボタン(赤いボタン)を下に押しても、タングがバックルから解除できない場合は、本装置のベルトを、はさみ等で切ってお子様を降ろしてください。

ご使用になる前に

リクライニングレバーを押しながら本装置をスライドさせ、お子様の体重に合った適正なポジションにセットしてください。
前向き・後ろ向きは、回転レバーを押し上げながら本装置を回転させてください。



ベビーシート
〈グループ0+〉

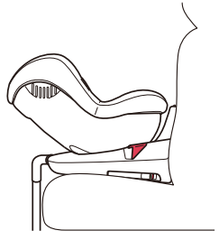
●適応体重
2.5kg以上13kg未満

●年齢の目安:**新生児〜1歳頃**

●身長の目安:60〜80cm未満

車両の進行方向に対し
後ろ向きで
使用してください。

リクライニング1青色



※後ろ向きでの使用は、助手席、エアバッグのある座席では使用できません。
必ず後席に取り付けてください。

チャイルドシート
〈グループⅠ〉

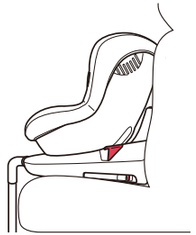
●適応体重
9kg以上18kg以下

●年齢の目安:**1歳頃〜4歳頃**

●身長の目安:75〜100cm以下

車両の進行方向に対し
前向きで
使用してください。

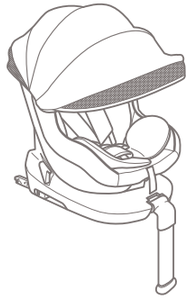
リクライニング1〜5赤色



※本装置の取り付けは、後席でのご使用となります。
※年齢・身長の目安はあくまで目安です。お子様の体重に合わせてご使用ください。
※体重が9kg未満のお子様は前向きでは使用できません。

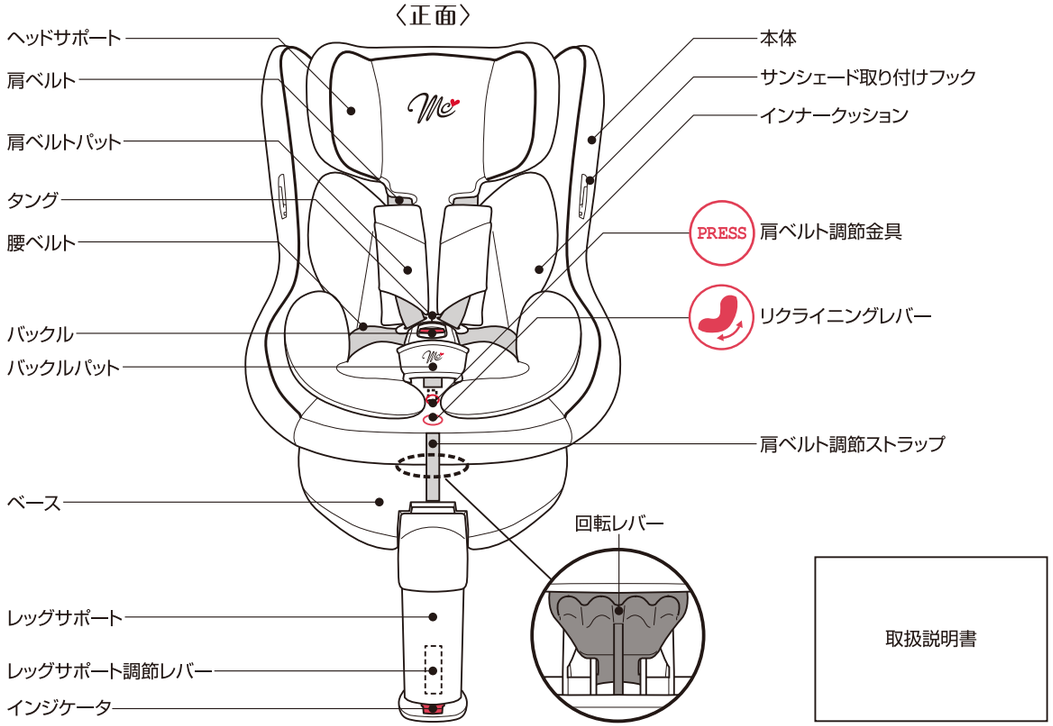
目　次

ターン・レジェデニムフィックス

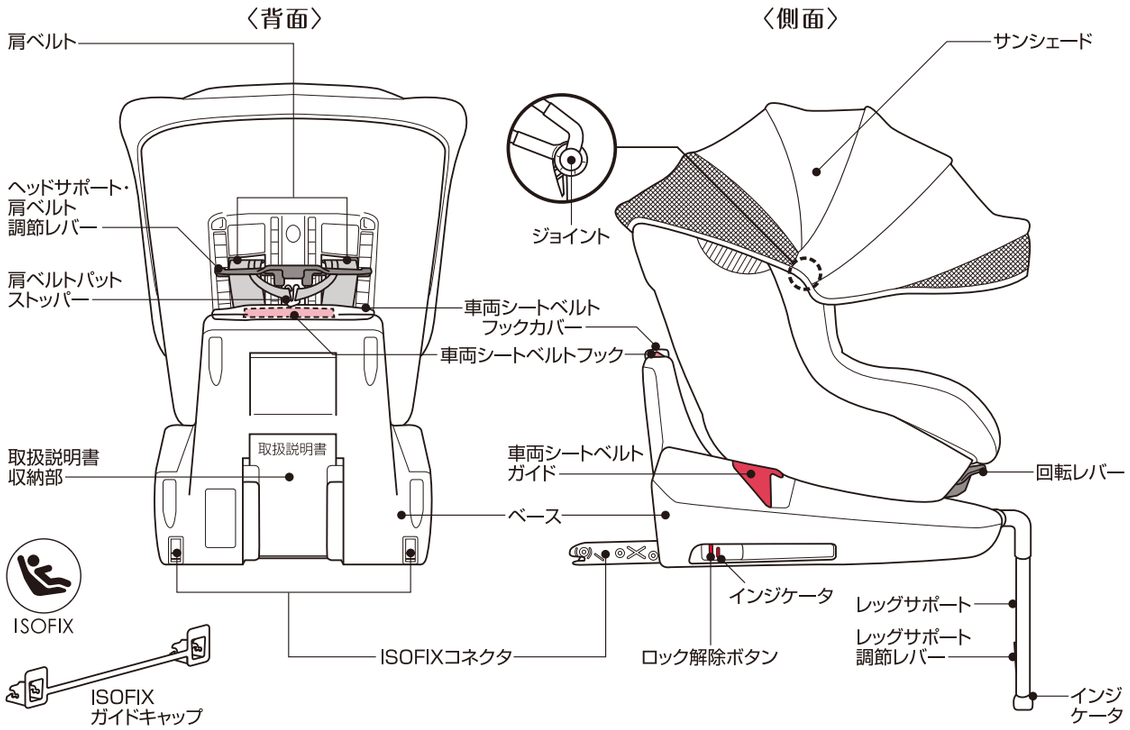


ご使用になる前に…… 1
各部の名称…… 7
各部の使い方…… 9
インナークッションの使い方 …… 9
❶ サンシェードの取り付け方……10
❷ ヘッドサポート・肩ベルトの調節方法……11
❸ バックル・タングの使い方……12
❹ 回転レバーの使い方……13
❺ リクライニングの調節方法……14
❻ ISOFIXの使い方……15
❼ レッグサポートの使い方……16
ISOFIXを使用した取り付け方……17
車両のシートベルトを使用した取り付け方……21
お子様の乗せ方……27
カバー・パットの取り外し方……29
カバー・パットの取り付け方……31
お手入れ方法……33
保 証 書……34

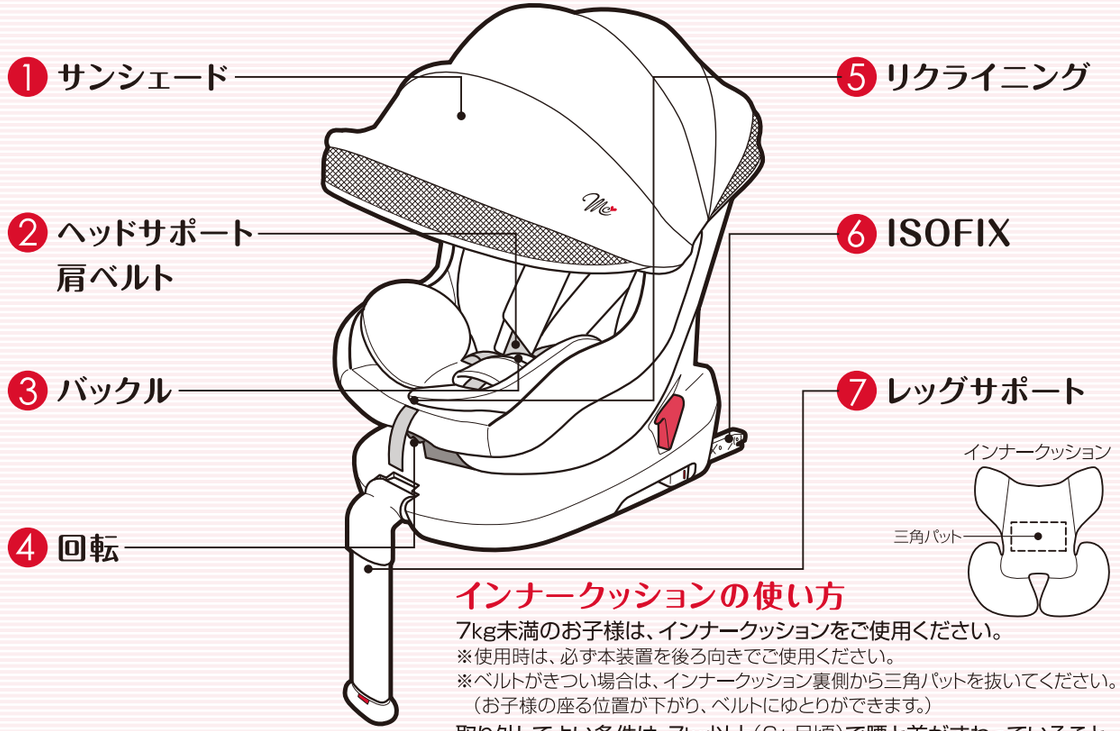
各部の名称



取扱説明書



各部の使い方



インナークッションの使い方

7kg未満のお子様は、インナークッションをご使用ください。

※使用時は、必ず本装置を後ろ向きでご使用ください。

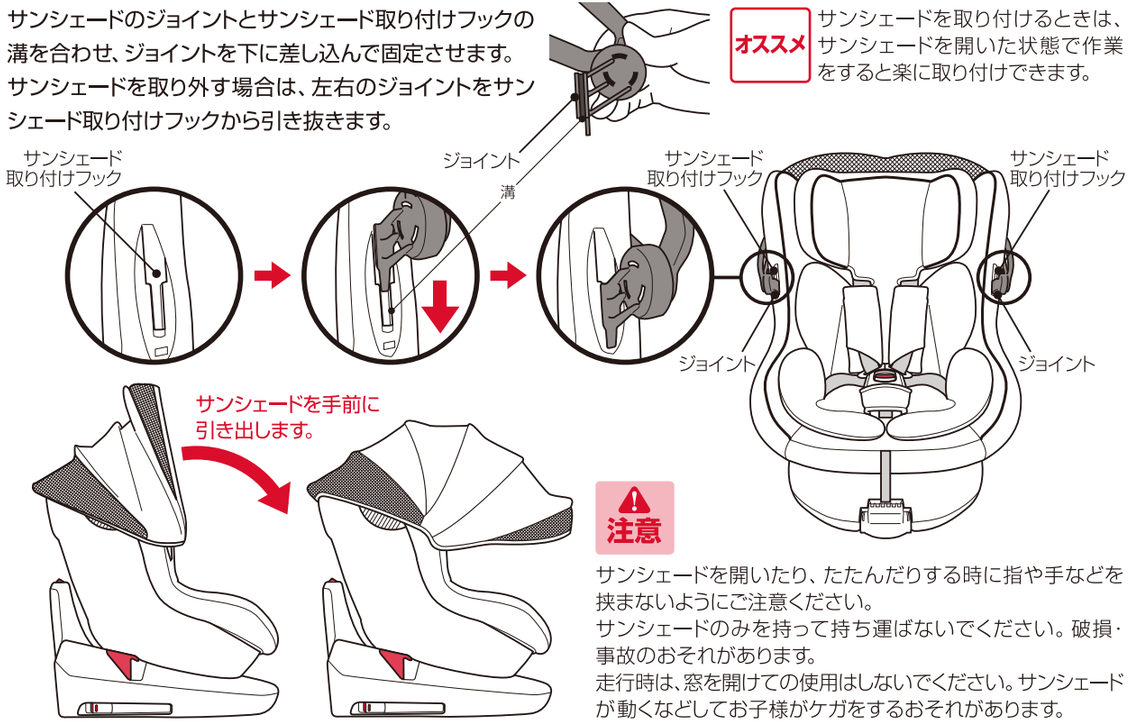
※ベルトがきつい場合は、インナークッション裏側から三角パットを抜いてください。
（お子様の座る位置が下がり、ベルトにゆとりができます。）

取り外してよい条件は、7kg以上（6ヶ月頃）で腰と首がすわっていること。

❶サンシェードの取り付け方

サンシェードのジョイントとサンシェード取り付けフックの溝を合わせ、ジョイントを下に差し込んで固定させます。
サンシェードを取り外す場合は、左右のジョイントをサンシェード取り付けフックから引き抜きます。

オススメ サンシェードを取り付けるときは、サンシェードを開いた状態で作業をすると楽に取り付けできます。



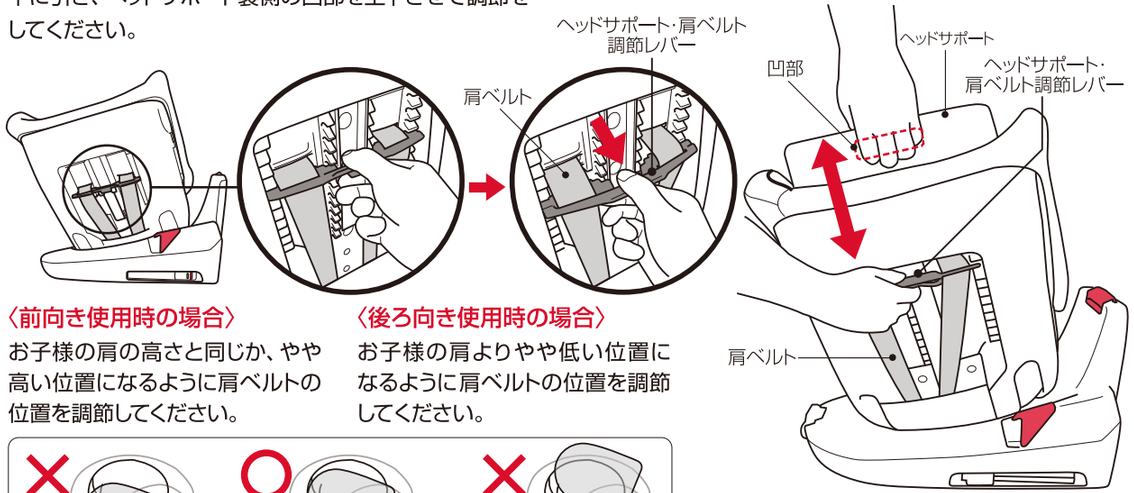
注意

サンシェードを開いたり、たたんだりする時に指や手などを挟まないようにご注意ください。
サンシェードのみを持って持ち運ばないでください。破損・事故のおそれがあります。
走行時は、窓を開けての使用はしないでください。サンシェードが動くなどしてお子様がケガをするおそれがあります。

❷ヘッドサポート・肩ベルトの調節方法

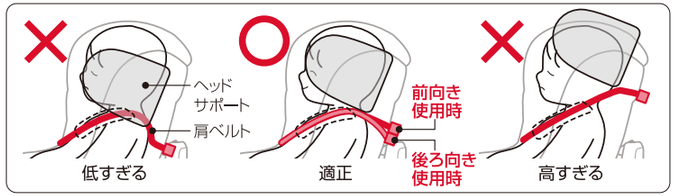
本体を横向きに回転させます。(P13参照)
本体の背面にあるヘッドサポート・肩ベルト調節レバーを下に引き、ヘッドサポート裏側の凹部を上下させて調節をしてください。

オススメ ヘッドサポート・肩ベルトを調節するときは、あらかじめ肩ベルトを緩めてから作業をすると楽に調節できます。



〈前向き使用時の場合〉
お子様の肩の高さと同じか、やや高い位置になるように肩ベルトの位置を調節してください。

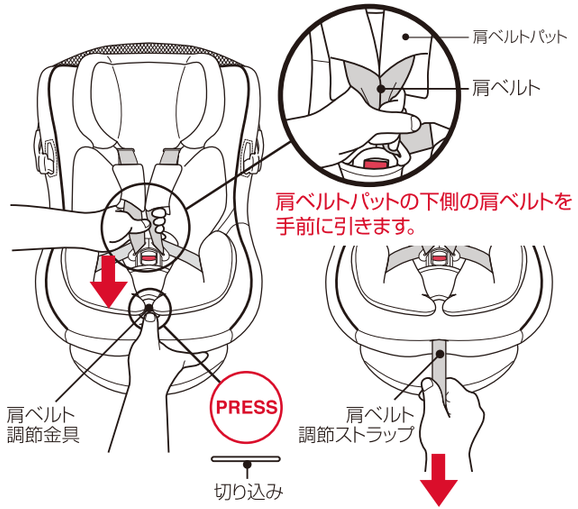
〈後ろ向き使用時の場合〉
お子様の肩よりやや低い位置になるように肩ベルトの位置を調節してください。



注意

サンシェードを取り外してから、ヘッドサポート・肩ベルトの調節をしてください。
調節後に、ヘッドサポート・肩ベルト調節レバーが、溝の奥までしっかり固定されていることを確認してください。

❸バックル・タングの使い方



〈肩ベルトを緩める場合〉

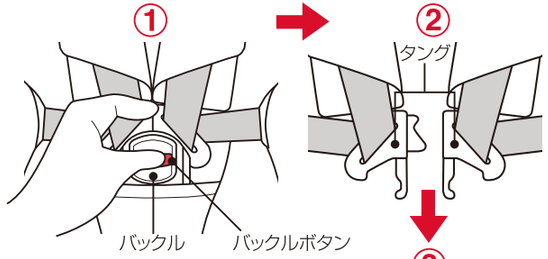
PRESSの手前にある本体カバーの切り込みから指を入れて、肩ベルト調節金具を押しながら、肩ベルトパットをつかまないように、さらに左右の肩ベルトを同時に引っ張ります。

〈肩ベルトを締める場合〉

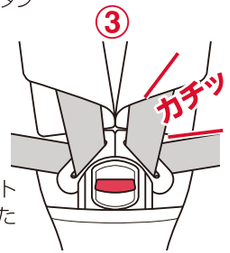
肩ベルト調節ストラップを、手前に引きます。

※お子様を乗せていないときに肩ベルト調節ストラップを引っ張りすぎないように注意してください。肩ベルトが緩みにくくなります。

バックルボタン(赤い部分)を下に押して、タングをバックルから解除します。
お子様が座れるようにタングを左右に開き、バックルを前に倒します。



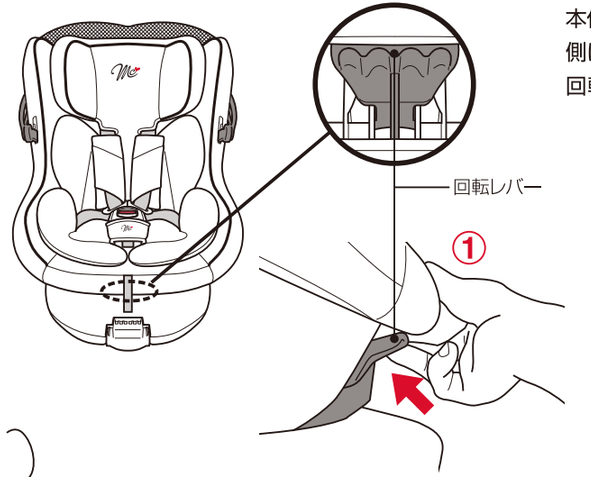
お子様を座らせ、左右の肩に肩ベルトを掛け、タングを合わせ、バックルが「カチッ」と音がするまで差し込みます。



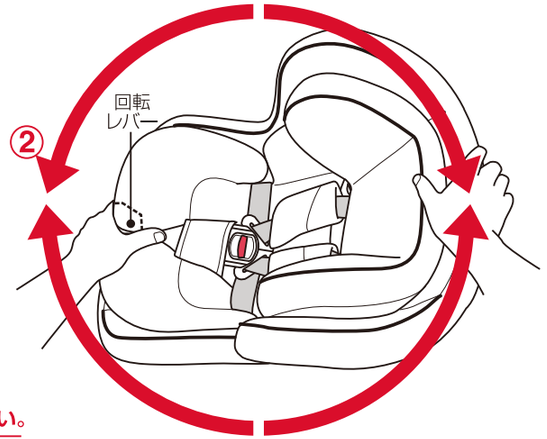
警告 バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたことをご確認ください。

補足 バックル内に飲み物や食べかす等が入ると、バックルが正しく機能しなくなるおそれがありますので、水分・ゴミは必ず取り除いてください。

❹回転レバーの使い方



本体正面の下部にある回転レバーを押し上げると、左右どちら側にも回転させることができます。
回転レバーを離すと、本体はロックされます。



横向きでは絶対に走行しないでください。

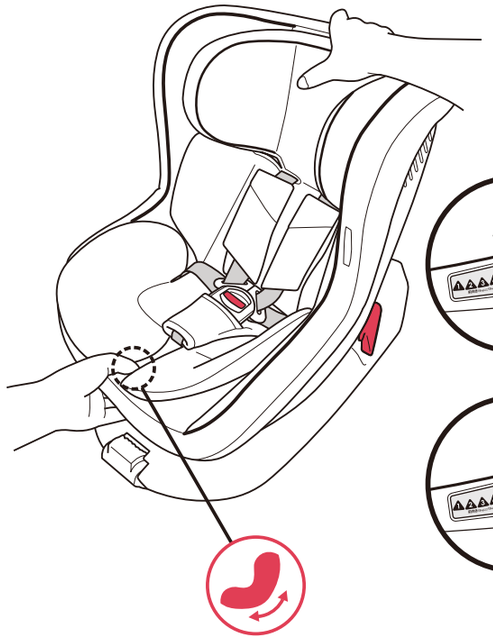
警告 チャイルドシートのシート部を横向きにしたままで絶対に走行しないでください。本来の機能を果たさず、たいへん危険です。

※お子様の乗せ降ろしのときのみ横向きで使用してください

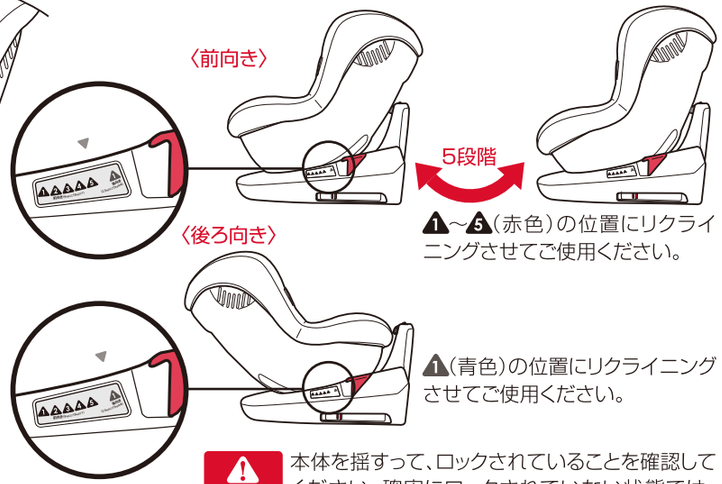
警告 本体を回転させ、ロックされていることを確認してください。確実にロックされていない状態では、決して使用しないでください。

注意 回転させる時に、お子様が手や指などを挟まないように注意してください。
走行中に回転操作はしないでください。

❺リクライニングの調節方法



リクライニングレバーを押しながら、本体をスライドしてリクライニングさせることができます。
リクライニングレバーを離して、本体をロックさせてください。



❶～❺(赤色)の位置にリクライニングさせてご使用ください。

❶(青色)の位置にリクライニングさせてご使用ください。

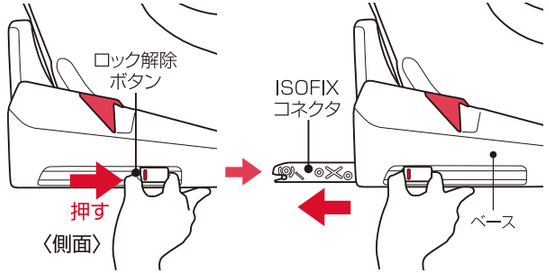
警告 本体を揺すって、ロックされていることを確認してください。確実にロックされていない状態では、決して使用しないでください。

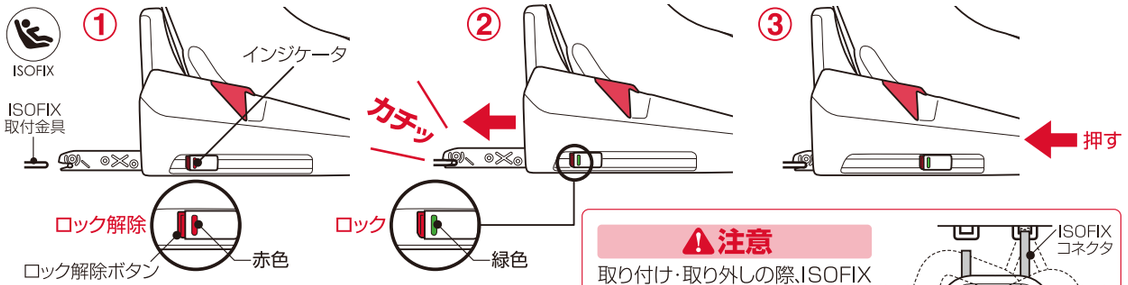
注意 リクライニングさせる時に、お子様が手や指などを挟まないように注意してください。
走行中にリクライニング操作はしないでください。

❻ISOFIXの使い方

ロック解除ボタンを押しながら、左右のISOFIXコネクタをベースの後方に目一杯引き出してください。

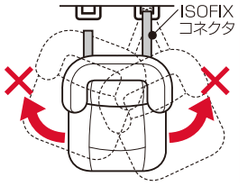
ISOFIX取付金具に、ISOFIXコネクタが「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。(下図②)
※インジケータが赤色から緑色に変わります。
さらに、本装置と車両のシートとの間に隙間がなくなるまで押し込んでください。確実にロックされているか、本体を前後に揺すって確認してください。





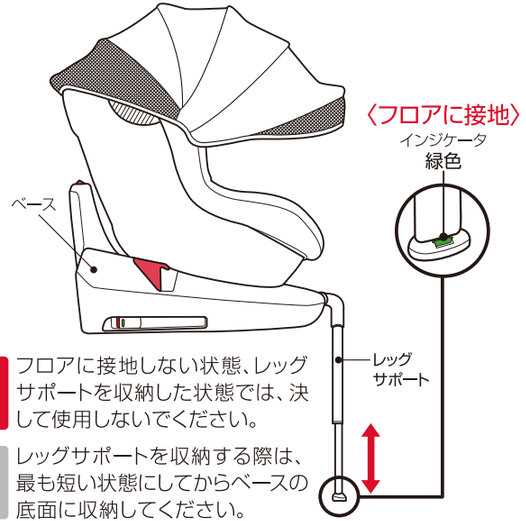
ロック解除ボタンを押すと、ロックが解除されます。
※ロックが解除されにくい場合は、本体を背もたれ側に本体を押しながらロックを解除してください。
※インジケータが緑色から赤色に変わります。

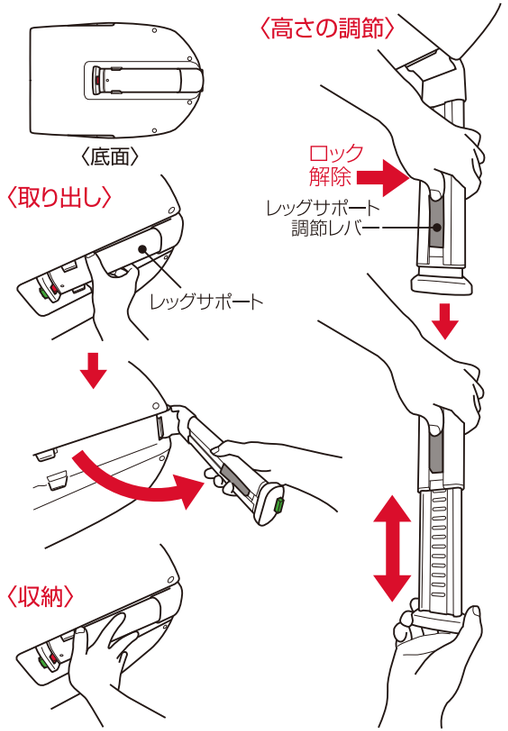
⚠注意
取り付け・取り外しの際、ISOFIXコネクタが片側のみ接続された状態で本体を左右に揺すると、ISOFIXコネクタが破損しますので絶対におやめください。



⑦ レッグサポートの使い方

本装置を横に寝かせ、ベースの底面に収納されたレッグサポートをベースの手前に引き出します。(右図)
レッグサポート調節レバーを押してロックを解除し、レッグサポートを上下させて調節します。
車両のフロアにしっかりと接地していることを確認してください。※インジケータが赤色から緑色に変わります。



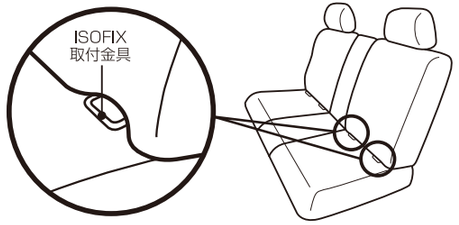


警告 フロアに接地しない状態、レッグサポートを収納した状態では、決して使用しないでください。

補足 レッグサポートを収納する際は、最も短い状態にしてからベースの底面に収納してください。

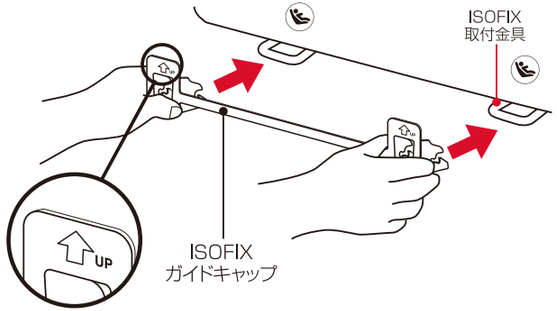
ISOFIXを使用した取り付け方

1. 車両の座席の背もたれの部分を少し押し上げて、ISOFIX取付金具の位置を確認してください。

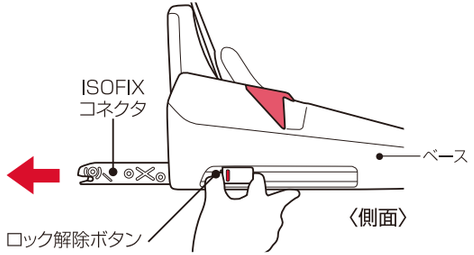


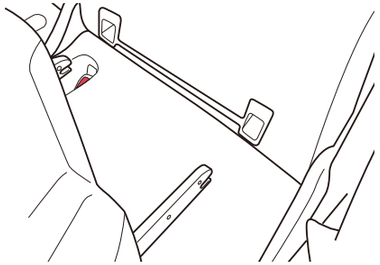
オススメ 助手席を前に移動させる等、取り付けスペースを確保してから作業をすると楽に取り付けできます。

2. ISOFIX取付金具に、ISOFIXガイドキャップを上下の向きに注意して取り付けてください。
※車両によっては取り付けできない場合があります。



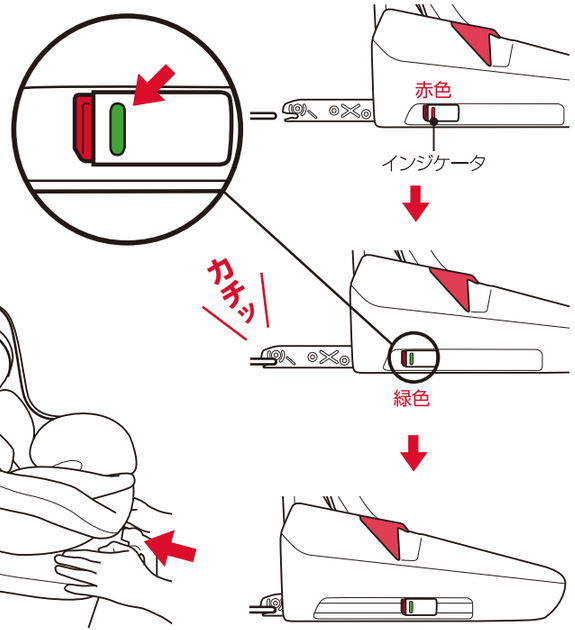
3. ロック解除ボタンを押しながら、左右のISOFIXコネクタを目一杯引き出してください。





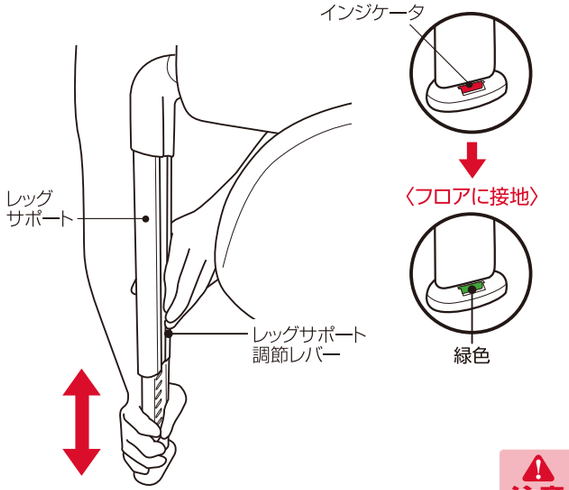
取り付けの動画は、こちらの
QRコードからご覧ください。

4. レッグサポートをベースの手前に引き出し(P16参照)、車両の座席に本装置を置き、ISOFIX取付金具に左右のISOFIXコネクタが「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。
※左右のインジケータが赤色から緑色に変わります。
さらに、本装置と車両の座席の背もたれとの間に隙間がなくなるまで押し込んでください。
確実にロックされているか、本体を前後に揺すって確認してください。

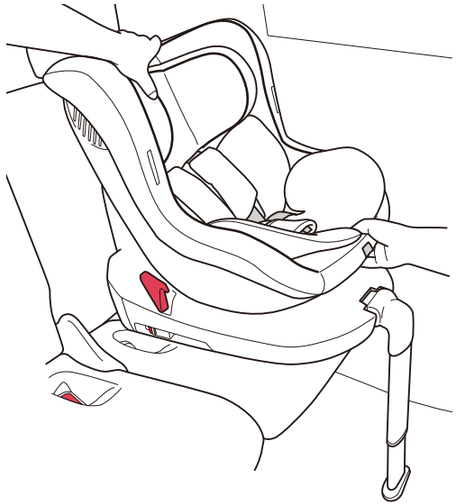


注意 左右のISOFIXコネクタをISOFIX取付金具に確実に差し込み、固定してください。固定されていないと重大な事故・傷害を受けるおそれがあります。

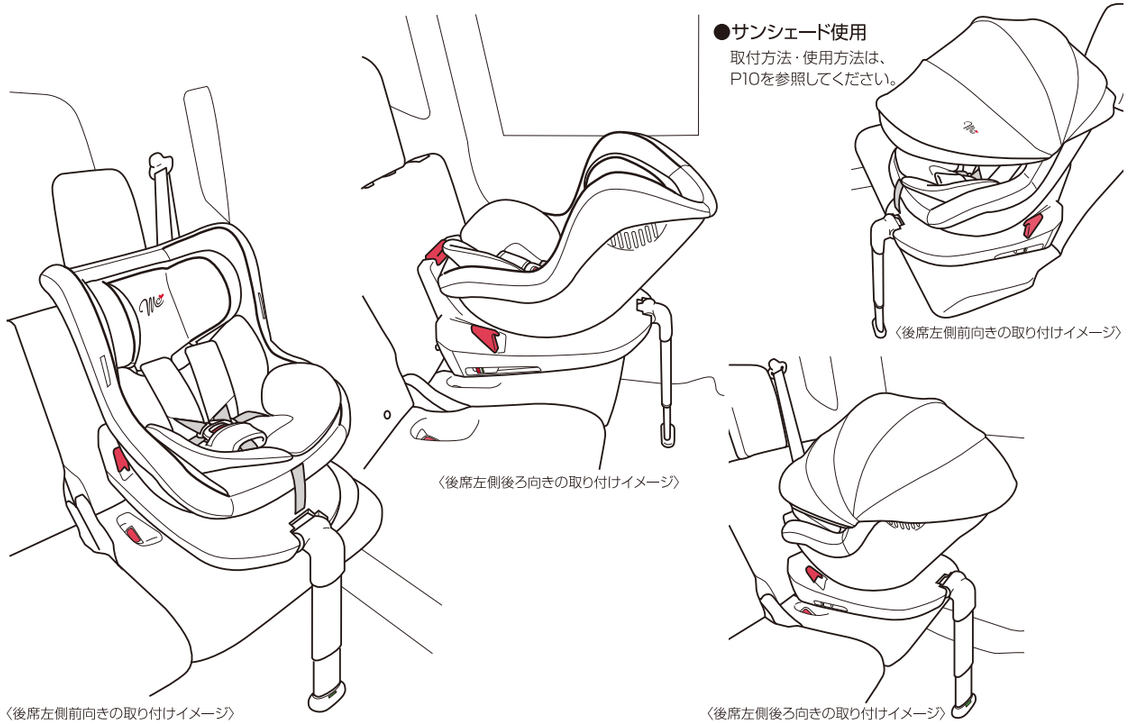
5. レッグサポート調節レバーを押してロックを解除し、レッグサポートを上下させて調節します。
車両のフロアにしっかりと接地していることを確認して、ロックしてください。
※インジケータが緑色になっていることを確認してください。



6. 本装置を取り付け後に、本装置を前後に揺らして確実に固定されているか、車両の座席と本装置との間に大きな隙間ができていないか確認をしてください。



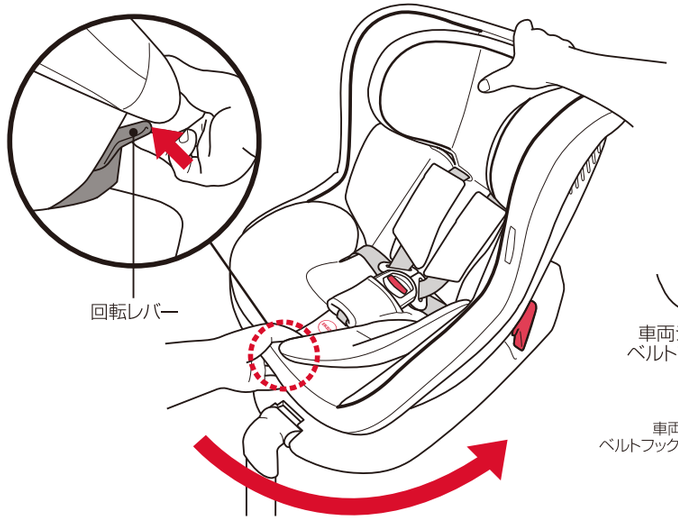
注意 車両によっては、しっかり押さえつけても隙間が生じる場合があります。また、座席の背もたれがリクライニングするものもありますので、できるだけ隙間が小さくなるようにしてください。

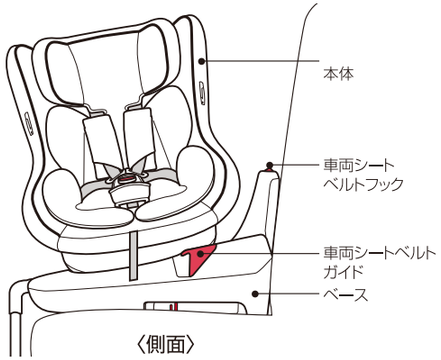


車両のシートベルトを使用した取り付け方

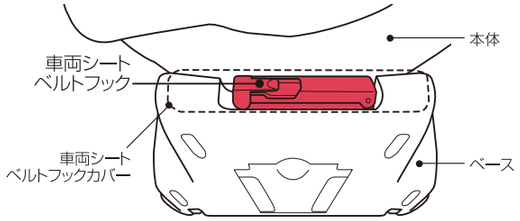
1. レッグサポートをベースの手前に引き出し(P16参照)、車両の座席に本装置を置いてください。回転レバーを押し上げて本体を90度回転させ、ベースの上にある車両シートベルトフックカバーを外し、車両シートベルトフック(右下図)と本体との間にスペースをつくります。

オススメ 助手席を前に移動させる等、取り付けスペースを確保してから作業をすると楽に取り付けできます。





〈側面〉

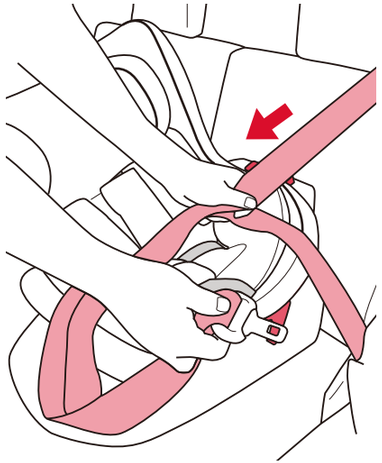


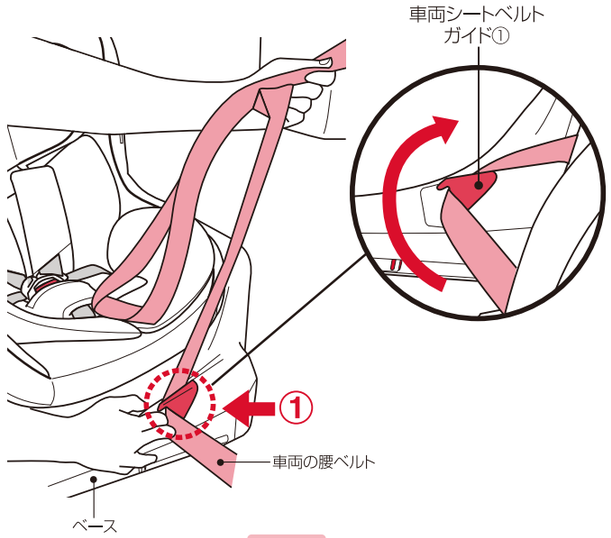
〈上面〉

※取り付け方は、左側座席に取り付ける手順を説明しています。
右側座席に取り付ける場合は、左右が反対の取り付け手順となります。

取り付けの動画は、こちらのQRコードからご覧ください。

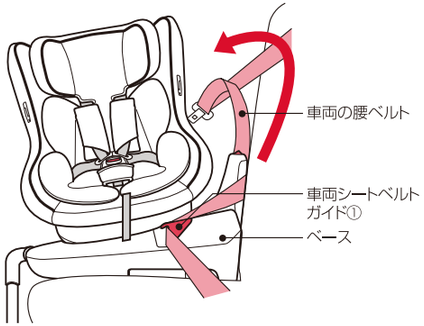
2. 車両のシートベルトを目いっぱい引き出します。車両シートベルトガイド①に、車両の腰ベルトを通します。

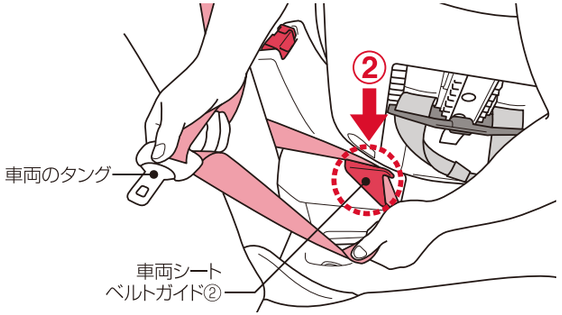




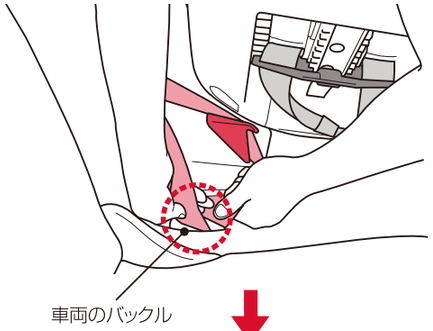
注意 車両のシートベルトに、ねじれができないように注意してください。

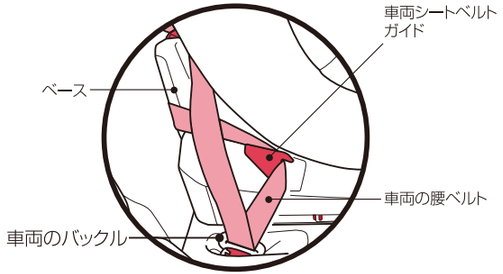
3. 車両の腰ベルトをベースの裏側に通して、反対側の車両シートベルトガイド②に通してください。



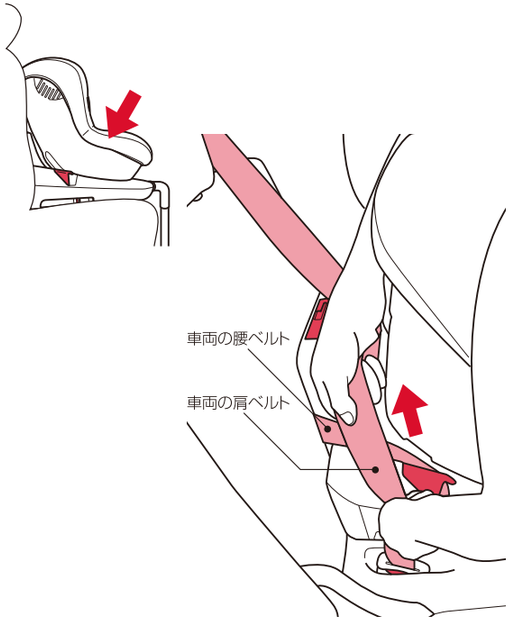


4. 車両のバックルに、タングをセットします。

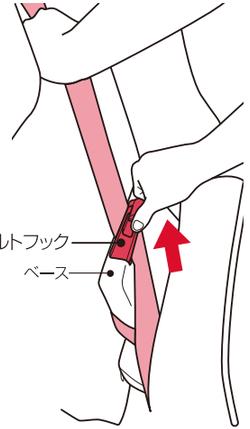




5. 本装置を車両の座面に押しつけながら車両の肩ベルトを強く引き上げて、車両の腰ベルトをしっかり締め付けてください。



6. 腰ベルトを締め付けた状態で、車両の肩ベルトに緩みがないように強く引き上げて、ベースの上部にある車両シートベルトフックに通し、ロックします。

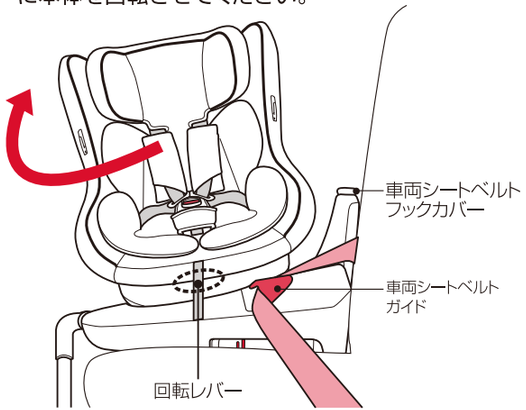


注意 車両シートベルトフックの操作中に、指を挟まないように注意してください。

〈車両シートベルトフックの開閉〉

●開ける　●閉める

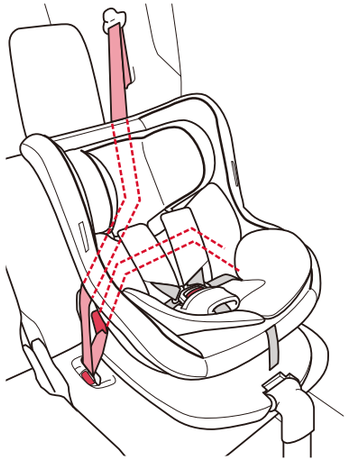
7. 車両シートベルトフックカバーをベースに取り付け、回転レバーを押し上げて、使用される向きに本体を回転させてください。



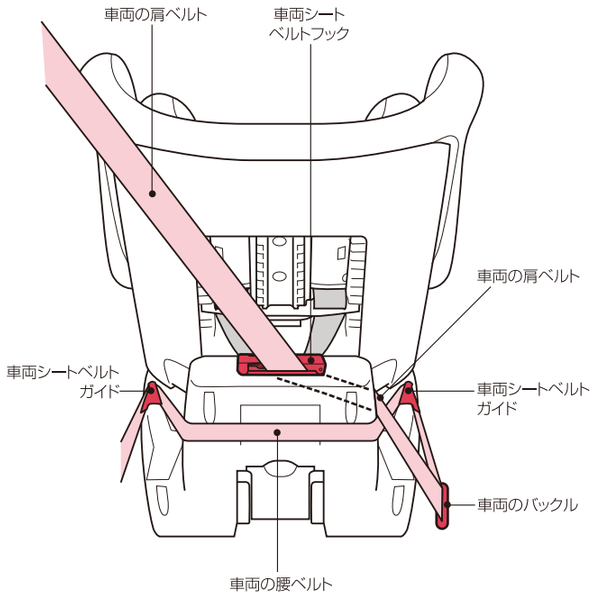
注意 車両によっては、しっかり押さえつけても隙間が生じる場合があります。また、座席の背もたれがリクライニングするものもありますので、できるだけ隙間が小さくなるようにしてください。

注意 車両シートベルトガイドに車両のシートベルトにねじれがなく通してあるか、車両シートベルトフックに確実にロックされているか確認をしてください。

8. 本装置を取り付け後に、本装置を前後に揺らして確実に固定されているか、車両の座席と本装置との間に大きな隙間ができていないか確認をしてください。
ぐらつきがある場合は、車両シートベルトフックのロックを解除して、再度車両のシートベルトを締め直してください。

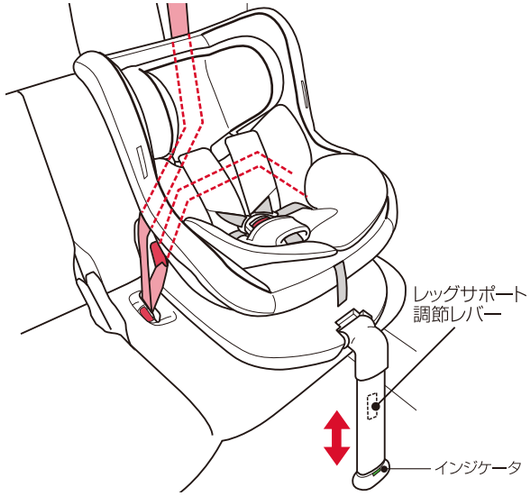


〈後席左側の取り付けイメージ〉



〈背面〉

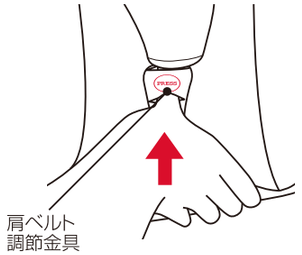
9. レッグサポート調節レバーを押してロックを解除し、レッグサポートを上下させて調節します。車両のフロアにしっかりと接地して、インジケータが緑色になっていることを確認して、レッグサポートをロックしてください。



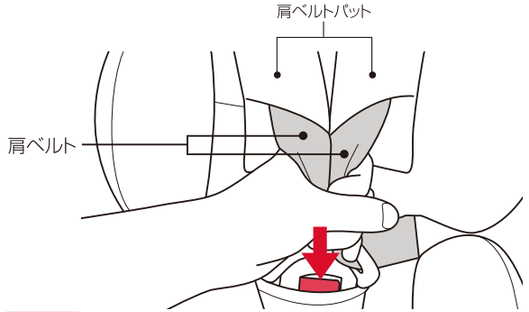
〈後席左側の取り付けイメージ〉

お子様の乗せ方

1. お子様を乗せる前に肩ベルトを10cm程度緩めます。

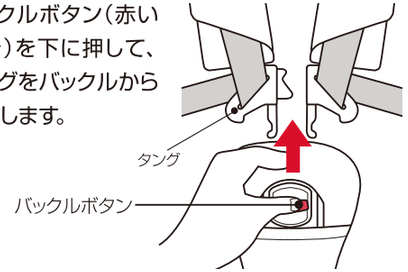


PRESSの手前にある本体カバーの切り込みから指を入れて、肩ベルト調節金具を押しながら、肩ベルトパットをつかまないように、左右の肩ベルトを同時に引っ張ります。

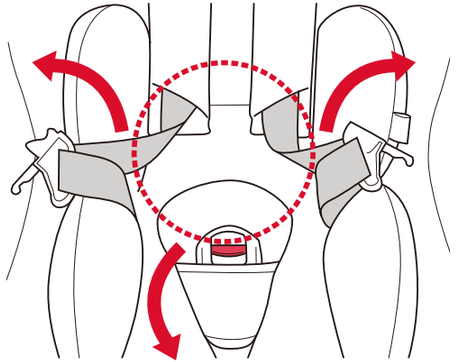


注意 肩ベルトを緩める際は、肩ベルトパットをつかまないように注意してください。

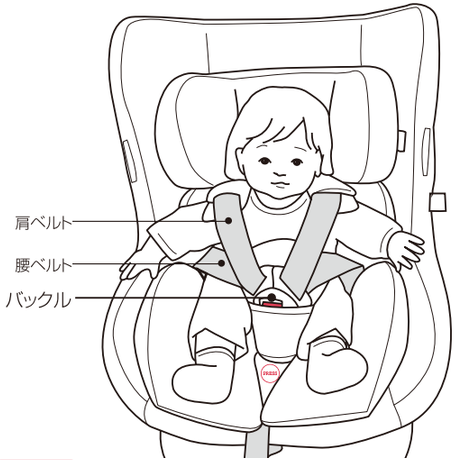
2. バックルボタン（赤い部分）を下に押して、タングをバックルから解除します。



3. 左右の肩ベルトを左右に開き、バックルも手前に倒して、お子様を乗せるスペースを確保します。



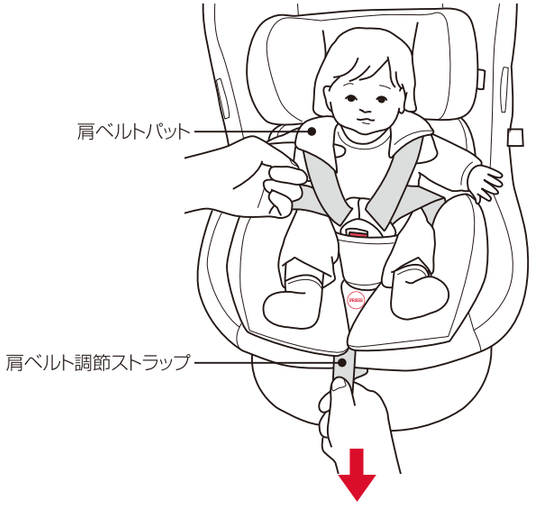
4. バックルがお子様の股の間に収まるように深く座らせ、肩ベルトを取り付けます。



注意 肩・腰ベルトに、ねじれができないように注意してください。

補足 ベルトがきつい場合は、インナークッション裏側にある三角パットを抜いてください。（お子様の座る位置が下がりベルトにゆとりができます。）

5. 肩ベルトパットとお子様の身体に指が1本入る程度に、肩ベルトストラップを手前に引いて肩ベルトを締めます。



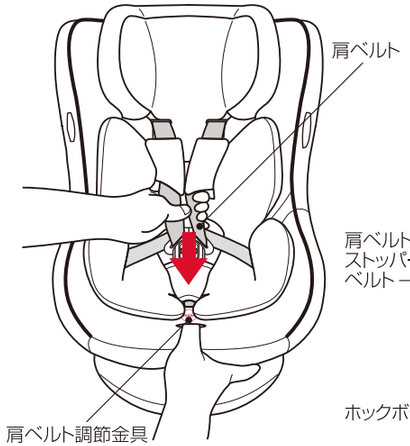
6. お子様の体重が2.5kg～13kg未満の場合は後ろ向きに、9kg～18kgは前向きに回転させてご使用ください。

カバー・パットの取り外し方

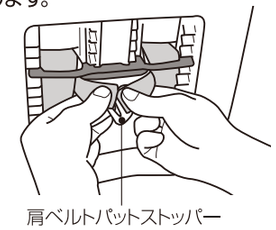
〈肩ベルトパット〉

①リクライニングレバーを押して5（赤色）の位置にリクライニングします。

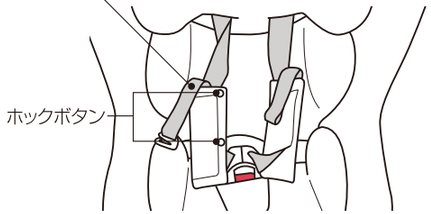
②PRESSの手前にある本体カバーの切り込みから指を入れて、肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルトを同時に引っ張り肩ベルトを緩めます。



③肩ベルトパットストッパーを取り外します。

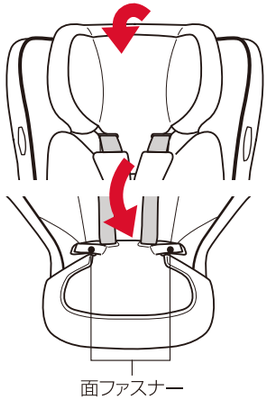


④肩ベルトストッパーベルトを本体表側に引き出します。
肩ベルトパット（裏側）のホックボタンを外して、肩ベルトパットを取り外します。



〈ヘッドクッション〉

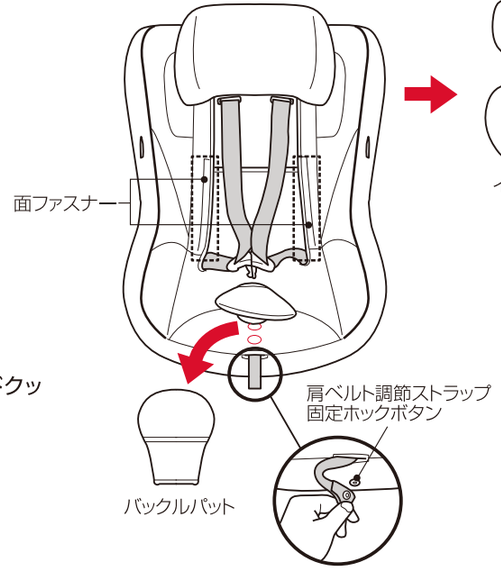
①ヘッドクッションを上部から外して、前に倒します。



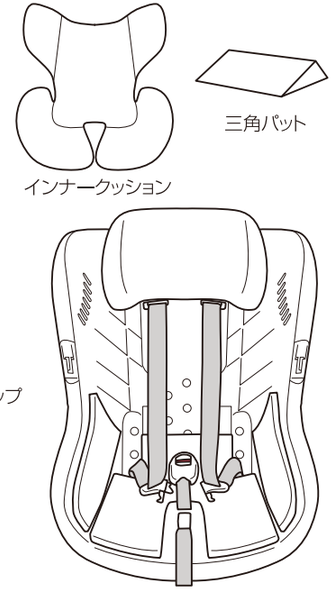
②面ファスナーを外して、ヘッドクッションを取り外します。

〈本体カバー・パット・クッション等〉

①バックルパットを引き抜きます。インナークッションを抜き取り、裏側から三角パットを取り出します。



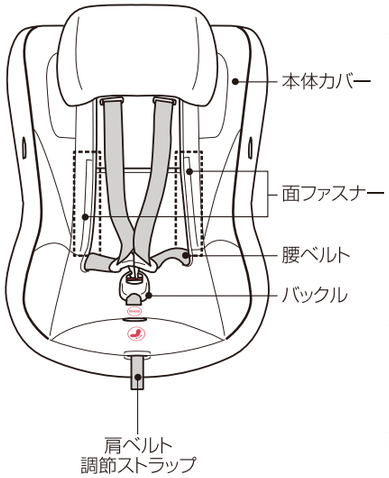
②面ファスナーを外し、肩ベルト調節ストラップ固定ホックボタンを外して本体カバーを取り外します。



カバー・パットの取り付け方

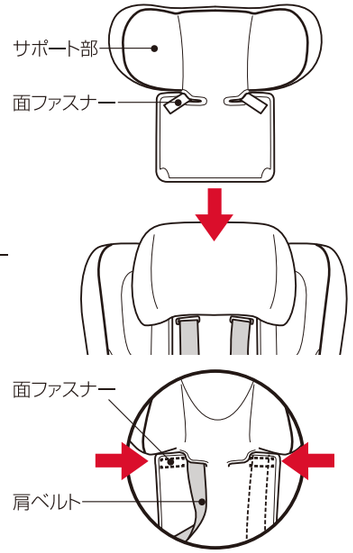
〈本体カバー〉

肩ベルト調節ストラップ・バックル・腰ベルトを本体カバーに通し、面ファスナーで固定します。



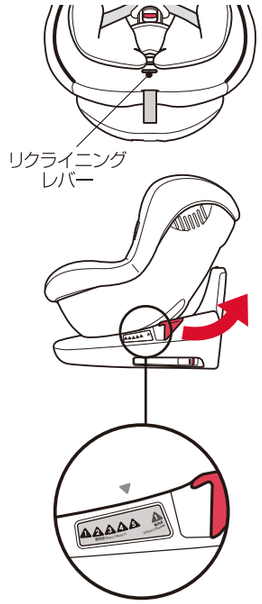
〈ヘッドクッション〉

ヘッドクッションの面ファスナーを外し、左右のサポート部から取り付けます。肩ベルトを通し、面ファスナーで固定します。

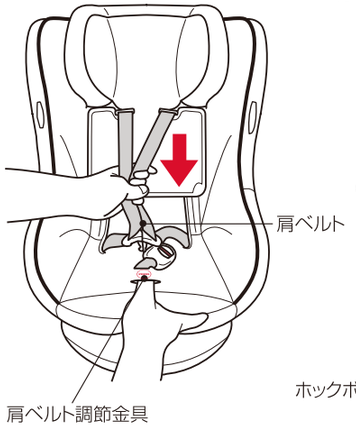


〈肩ベルトパット〉

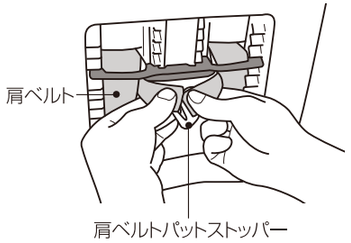
①リクライニングレバーを押して5の位置にリクライニングします。



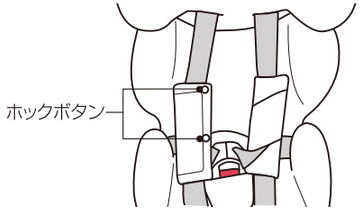
②PRESSの手前にある本体カバーの切り込みから指を入れて、肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルトを同時に引っ張り肩ベルトを緩めます。



③肩ベルトパットストッパーを、肩ベルトの下側から通して取り付けます。

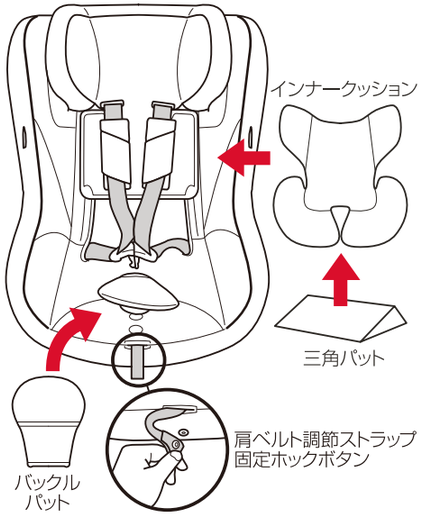


④肩ベルトパット（裏側）のホックボタンを付けて、肩ベルトパットを取り付けます。



〈パット・クッション等〉

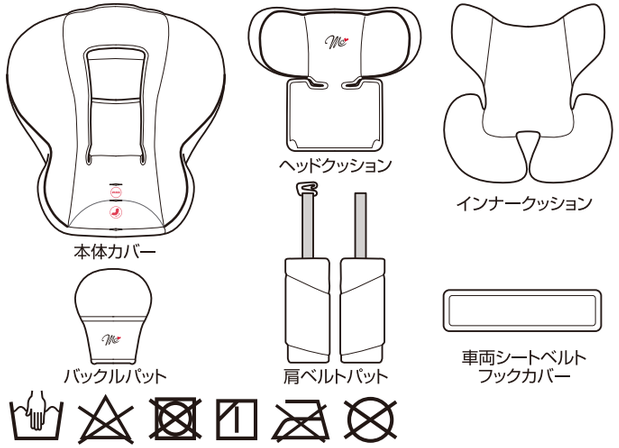
バックルパットをバックルに取り付けます。インナークッションの裏側に三角パットを入れてから本体に置き、肩ベルト調節ストラップ固定ホックボタンを付けて取り付け完了です。



お手入れ方法

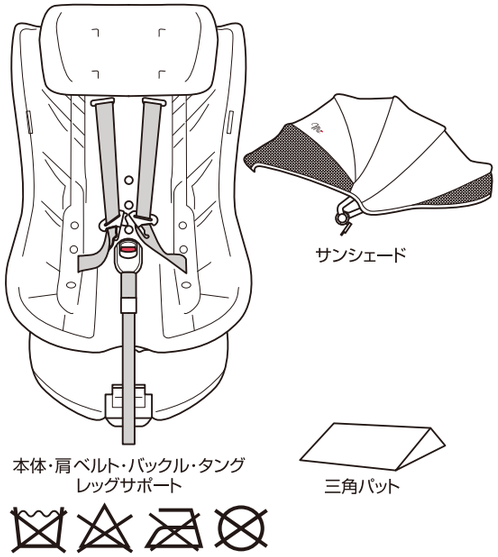
■本体カバー・ヘッドクッション・インナークッション・バックルパット・肩ベルトパット・車両シートベルトフックカバー

- ●中性洗剤を使い、手洗いしてください。
- ●塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- ●脱水機・乾燥機等は使用せず、タオル等で水分を十分取り風通しのよい日陰で干してください。
- ●しっかり乾くまで使用しないでください。
- ●アイロンがけはしないでください。
- ●肩ベルトパットストッパー、バックル・タングに付いた水分や汚れはしっかり拭き取って乾かしてください。



■本体・肩ベルト・バックル・タング・レッグサポート三角パット

- ●乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- ●風通しのよい日陰で干してください。
- ●しっかり乾くまで使用しないでください。



保証基準

①本装置の品質保証期間は、お買い求めになった日より1年間です。
②保証期間内には、パーツの欠品、加工不良などメーカーの責任によるものは無償保証といたしますが、お客様の責任によるものは保証いたしかねます。
③保証期間内でも次の場合は保証対象外とさせていただきます。
・フレーム及びプラスチック部品の自然劣化。
・ご使用にともなうキズややぶれ。
・天変地異や、事故などによる故障や損傷。
・保証書及び販売証明書などのご提示がない場合。
・間違った使い方や改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷。
・有償修理時に要する発送費。
④原則として、一度ご使用になった製品は、パーツ欠品、加工不良のものを除き保証いたしかねます。
⑤保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスは受付できません。
⑥ご贈答、ご移転で保証書に記入してある販売店に保証サービスを依頼できない場合はお客様相談窓口にご相談ください。
⑦製造中止後の製品については、必要部品の在庫がなくなった場合、保証いたしかねることがあります。
⑧この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料保証をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権限を制限するものではありません。この保証期間後においてご不明な点がありましたらお客様相談窓口にお問い合わせください。

保証書

お買い上げ後、お買い上げ日・お客様名・販売店名を直ちにご記入いただき、**レシート**または**販売証明書**（ご購入年月日・販売店がわかるもの）**と一緒**に大切に保管してください。

商品名	ターン・レジェデニムFIX	お買い上げ年月日	年　月　日	故障内容記入欄
		保証期間	お買い上げ日より1年間	
お客様	お名前	TEL		
	ご住所			
販売店	店名	TEL		
	住所			

●万一故障が発生した場合は、この保証書をご提示ください。●ご提供いただいた個人情報は、保証書に基づくアフターサービスのために使用し、その他の目的に使用することは一切ございません。●本書は再発行しませんので、大切に保管してください。※品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。

販売元
株式会社西松屋チェーン
〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1

製造輸入元・お客様相談窓口
株式会社シーエー産商
0120-034-017
受付時間　AM10:00～12:00・PM1:00～PM5:00（月曜日～金曜日 ※弊社休日を除く）
〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

2019-09